

授業計画の作成・公表に係る取組の概要

四国医療技術専門学校

授業計画の作成・公表に係る取組の概要

1月	翌年度の教科担当者を決定
2月	教科担当者はシラバスを作成
3月	シラバスは学科会において取りまとめ内容確認の後決定
3月末	公表

シラバス

医療情報学科

科目名	実用英語			履修法	講義 必修
学 期	1 年 後期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	越知 敬子				
目 標	本講座は、医療秘書の実務の場で必要とされる、実地的な英語力の育成を目指し、医療秘書技能検定試験、各種英語資格試験にチャレンジすることを目標とする。				
内 容	教科書の「使える 医療実務英語」と資料「BasicMedicalWords」の2つを使い医療実務英語に必要な会話力、語彙力、読解力を高める。 「使える 医療実務英語」は1)医療実務英会話 2) 医療実務英文書に分かれており、1)と2)を後期の14レッスンを半々にわけて行う。また 「BasicMedicalWords」はクロスワードを中心に解きながら、医療英語の語彙を増やす。				
備 考	毎回の授業に英和辞典、和英辞典を持参すること。 2回に1回位、単語のテストをする。				

科目名	秘書概論			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	伊藤 歌子				
目 標	① 秘書として求められる資質や能力について理解し、職場で必要とされるマナー・技能を習得する。 ② 6月にある秘書技能検定試験3級の取得をする。				
内 容	秘書業務について <ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書の資質 ・ 職務知識 ・ マナー、接遇 ・ 技能 ・ 秘書技能検定試験3級の受験対策 				
備 考					

科目名	医療事務基礎			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期	授業時間／ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	4 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務				
目 標	医療秘書技能検定試験 3 級の合格を目指し、医療事務の基礎的な部分の算定の原則を理解させる。また医療保険制度についても理解させる。外来レセプトの作成をする。				
内 容	1、病院の概要、保険制度 2、請求事務の基本、レセプトの基礎 3、点数算定の原則、診察料 4、医学管理 5、投薬 6、レセプト実践 7、注射 8、処置 9、検査 10、手術 11、麻酔 12、画像診断 13、在宅医療、リハビリテーション 14、入院料 (成績評価方法) 定期試験 80%、小テスト 10%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う。				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	医療事務基礎演習			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期	授業時間/ 授業回数	90 時間 45 回	単位数	3 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務				
目 標	医療秘書技能検定試験 3 級において繁雑に算定される項目に関して十分な理解を得るような指導を行い検定資格の取得をめざす。				
内 容	<p>1、診察料、医学管理、投薬、注射、レセプトの基礎で問題を解く。 特に 5 捨 5 超入と 4 捨 5 入の違いを理解させる。</p> <p>2、処置、検査、手術、麻酔で問題を解く。特に検査では区分（判断料ごと）に整理をして指導を行う。また処置では診療録から正確に処置行為を判読する。手術は通則を理解できるようにする。</p> <p>3、画像診断、在宅医療、リハビリテーションで問題を解く。特に画像診断では診療録からの撮影方法を判断させる。</p> <p>4、在宅、リハビリテーション、手術、麻酔、輸血、病理組織、精神科、入院などの問題を解く。注意が必要なところなどは、例題をだしながら学生がわかりやすいように、説明をする。</p> <p>(成績評価方法) 定期試験 80%、小テスト 10%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	診療報酬請求事務 I			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	120 時間 60 回	単位数	8 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	診療報酬請求事務能力認定試験合格。 就職にむけて、現場にて必要な知識を教える。 診療報酬請求事務能力認定試験の過去問題集を使用し過去問題を行うことにより出題傾向の理解間違いやすい項目を理解させる。				
内 容	<p>医療保険制度 被用者保険、国民健康保険、退職者医療、後期高齢者医療 公費負担医療制度 生活保護法、感染症法、障害者総合支援法、難病法 医療保障制度 労災、自賠責 保険医療機関、保険医 療養担当規則 診療報酬請求と審査制度 医療関係法規 医療法・ 医師法 介護保険制度</p> <p>過去問題集を使用し作成したレセプトの解説を行う。 ポイントを絞り進めていく。質問等による個々への対応も考え勧める。 (成績評価方法) 定期試験 80%、小テスト 10%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	診療報酬請求事務演習 I			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	150 時間 75 回	単位数	5 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	診療報酬請求事務能力認定試験において繁雑に算定される項目に関して十分な理解を得るような指導を行い検定資格の取得をめざす。医療事務の基礎的なことを理解したうえで難易度の高い検定の合格をめざす。				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・入院料の算定の原則を理解する。 入院基本料、入院基本料等加算、特定入院料、短期滞在手術基本料などを理解させる。 ・一般病棟に関する加算について届出の可否も含めて理解させる。 実務、検定においても一般病棟に関係することが多い為、中心に指導する。 <p>(成績評価方法) 定期試験 80%、小テスト 10%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	ドクターズクランク			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	4 単位
担当者	岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターズクランクとしての業務を理解させる。 ・医師事務作業補助技能認定試験に合格させる。 ・現場で困らないように、実際に自分の経験から現場で学んだことを教える。 				
内 容	社会保障制度、医療保険制度 健康保険法 国民健康保険 保険医療機関及び保険医療養担当規則 労災 自賠責 医療法・医師法・感染症法・生活保護法・老人福祉法 高齢者の医療の確保に関する法律 身体障害者法 介護保険法 薬学一般・医学一般 医師事務作業補助業務 診療録（電子カルテ） 個人情報保護 院内感染防止 医療安全管理 （成績評価方法） 定期試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	ドクターズクランク演習			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	2 単位
担当者	岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・医師事務作業補助技能認定試験に合格させる。 ・現場で使用される文書作成ができるように書類の意味を理解させる。 				
内 容	<p>診断書・証明書 傷病手当金支給申請書 死亡診断書・死体検案書 院外処方箋 診療情報提供書 医療要否意見書 休業補償給付支給請求書 自動車損害賠償責任保険診断書 治療用装具証明書 主治医意見書（介護保険）</p> <p>（成績評価方法） 定期試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	簿記			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	4 単位
担当者	岡野 嘉之				
目 標	日本商工会議所 簿記検定 3 級全員合格。				
内 容	<p>簿記初学者が早い段階で脱落しないように最初の基礎の基礎をしっかり時間をかけて説明する。</p> <p>授業の様子を見ながら生徒たちが苦手としているところを重点に時間をつかうようにする。</p>				
備 考					

科目名	簿記演習			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間／ 授業回数	90 時間 45 回	単位数	3 単位
担当者	鎌田 やよい				
目 標	<p>基本的な簿記のしくみを理解させる。 帳簿組織を理解させ、取引の仕訳、記帳が行えるようにする。 財務諸表の作成が効率的に行えるようにする。 簡単な財務分析が行えるようにする。 日本商工会議所 簿記検定試験 3 級の合格。</p>				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簿記の目的を理解する。 ・ 財務諸表の役割と仕組みを理解する。 ・ 商品売買取引の仕訳と記帳を理解する。 ・ 支払用具（現金・小切手・手形）の仕訳と記帳を理解する。 ・ その他の債権・債務の仕訳と記帳を理解する。 ・ 決算の意味と決算整理の手順を理解する。 ・ 損益計算書・貸借対照表を作成する。 ・ 伝票制を理解し、その記帳方法を理解する。 ・ 模擬問題・過去問題の演習で検定合格を目指す。 <p>(成績評価方法) 定期試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考					

科目名	医療秘書			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	医療秘書技能検定試験 3 級合格させる。				
内 容	日本の医療 医療とは 日本における医療発展の沿革 日本の病院の成り立ち ヨーロッパの病院 医療事務の発展 病院の組織 医療界の現状 病院数の推移 医療施設、病床の種類と数 診療報酬の支払い方式 医療秘書の実務 医療機関が求める人材 守秘義務 患者への接し方 患者受付業務 文書業務 (成績評価方法) 定期試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	医学基礎知識			履修法	講義 必修
学 期	1 年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	片岡 昌 臨床工学技士として医療機関へ 5 年以上勤務 井関厚志 臨床工学技士として医療機関へ 5 年以上勤務				
目 標	医学的専門知識を得ることで、チーム医療の一翼を担うことのできる医療秘書職を目指す。 取得目標：医療秘書技能検定 3 級				
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総論—人体の構成要素 2. 神経系・感覚器 3. 循環器系について 4. 血液について 5. 運動器系について 6. 泌尿器系について 7. 内分泌系について 8. 呼吸器系について 9. 消化器系について 10. 生殖器系について <p>(成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	コンピュータ演習 I			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	2 単位
担当者	鎌田 やよい				
目 標	<p>Word を使用し 10 分間で 6 5 0 文字以上入力できるようにする。</p> <p>Word の基本操作を習得させる。</p> <p>文書の作編集、表の作成・編集方法と印刷方法を習得させる。</p> <p>図形や画像を使用した文書の作成方法を習得させる。</p> <p>ビジネス文書のフォーマットを理解させる。</p> <p>文書処理技能認定試験 3 級の合格。</p>				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ Word の起動・終了、画面操作、ファイル操作を習得する。 ・ 毎時間タイピングの練習を行う。 ・ 文字の入力と編集の基本操作を習得する。 ・ 文書の編集における各種設定の操作を習得する。 ・ 表の作成・編集・装飾の操作を習得する。 ・ 文書の印刷における各操作を習得する。 ・ ビジネス文書作成のルールを習得する。 ・ 図形や画像の作成・編集・挿入の操作を習得する。 ・ 模擬問題・過去問題の演習で検定合格を目指す。 <p>(成績評価方法)</p> <p>実技試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考					

科目名	医事コンピュータ演習			履修法	演習 必修
学 期	1年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	3単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	医事コンピュータ技能検定試験3級をめざす。 過去問題集を使用し出題傾向の理解、間違いやすい項目を確認し全員合格に向けて指導する。				
内 容	<p>領域Ⅰ</p> <p>過去問題集(学科)を使用 出題された項目を的確に見極め、該当項目を点数早見表より引き出すのがポイントになることを理解し演習を行う。</p> <p>領域Ⅱ</p> <p>過去問題集(コンピュータ関連知識)を使用 コンピュータと情報表現 コンピュータの仕組みと動作 ソフトウェア 最新情報を取り入れながら学習し、演習を行う。</p> <p>領域Ⅲ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、基本設定・新患登録 2、初診～投薬入力 レセプト出力 3、医学管理等、注射、処置入力演習 4、手術、検査入力の注意事項 5、画像診断入力(特に理解しづらい分野、演習を繰り返す) 6、入力を過去問題中心として繰り返す <p>(成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	計算実務			履修法	演習 必修
学 期	1年 前期	授業時間／ 授業回数	30時間 15回	単位数	1単位
担当者	鎌田 やよい				
目 標	<p>電卓におけるタイピングをマスターさせる。 電卓の機能を理解させ、効率的に計算が行えるようにする。 速く・正確にキー操作が行えるようにする。 日本電卓技能検定協会主催 電卓技能検定試験合格を目指す。</p>				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・数字キーの配列を覚える。 ・各種キーの配列と機能を覚える ・「速算電卓」上達のポイントを理解する。 ・キータッチの方法を覚え、繰り返し練習する。 ・電卓技能検定の解き方を理解する。 ・伝票の計算方法を理解し、繰り返し練習する。 ・練習問題の演習で検定合格を目指す。 <p>(成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。</p>				
備 考					

科目名	検定対策 I			履修法	演習 必修
学 期	1 年 前期	授業時間/ 授業回数	60 時間 30 回	単位数	2 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	各種検定資格の取得をめざす。				
内 容	各種検定試験の問題集を使用し、模擬試験を行う。 (成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	医療事務実習 I			履修法	実習 必修
学 期	1 年 後期	授業時間/ 授業回数	90 時間 45 回	単位数	2 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	医療機関の現場において ・受付業務の取得 ・現場での心得、マナーの取得 ・会計業務の体験 などを目標とする				
内 容	<p>実習内容</p> <p>1 職場での心得・マナーの習得</p> <p>① 患者様に対する応対の仕方</p> <p>② 職員に対する正しい言葉遣い</p> <p>2 窓口業務の習得</p> <p>① 患者様の受付、呼び出し</p> <p>② 保険証の取り扱い</p> <p>③ カルテ検索、搬送</p> <p>④ 新患カルテ作成</p> <p>⑤ 電話対応等</p> <p>3 会計業務の体験</p> <p>① 診療報酬明細書の算定</p> <p>② 一部負担金の徴収等</p> <p>上記に実習内容を中心に体験・習得 (成績評価方法)</p> <p>学外実習指導者からの評価(点数)を加味し評価をする。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	実習ガイダンス I			履修法	演習 必修
学 期	1 年 後期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	1 単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ 10 年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	医療事務の実習での必要な心構え、基本的なマナー、実習に必要な知識等を指導する。				
内 容	<p>病院実習のオリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応の留意点。 ・ 勤務時の心得。 <p>実習中の毎日の心得 実習日誌の記入 挨拶・礼儀 電話の対応 敬語の使い方 実習中の服装・みだしなみ</p> <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	バイオエシックス（生命倫理学）			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間／ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当者	山本 希				
目 標	技術の発展に伴い生じた現代の生命倫理に関わる問題について、多面的な角度から検討し正しい対応の途を考察することができる。				
内 容	1 インTRODダクション 2 脳死・臓器移植 3 医療資源の配分 4 安楽死・尊厳死 5 デザイナーベイビー 6 代理母 7 減数（減胎）手術 8 出生前診断と選択的人工妊娠中絶 9 障害新生児選択的治療中止 10 医学実験・治療実験 11 インフォームドコンセントと告知 12 遺伝・相続の倫理問題 13 クローン技術 14 まとめ 15 試験 （成績評価方法） 定期試験により成績評価を行う。				
備 考					

科目名	臨床心理学			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	溝淵 由里				
目 標	<p>① 臨床心理学の知識を学び、日常生活で実践できるスキルを身につける。</p> <p>② 演習やビデオ視聴などを通して体験的に自分自身への理解を深める。</p> <p>③ ロールプレイやデモンストレーションを通して対人関係スキルを高める。</p> <p>以上①～③の学習を通して職業人としてのウェルネス（心身の健康）とレジリエンス（精神的回復力）の獲得を目指す。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロローグ「心理学とは」 ・性格の心理学/性格とは・性格分類・自分の性格は ・人間関係の心理学/関係性の中で揺れる心 ・集団の心理学/集団に影響される心 ・記憶の心理学/記憶の仕組み・心が影響を与える記憶 ・発達の心理学/発達とは何か・発達段階で変化する心 ・心理学と治療/臨床心理学とは何か・心の不調とは・精神疾患と QOL ・犯罪の心理学/犯罪者の心とは・身近にいるサイコパス・被害を受けないために ・心理学と環境/環境に影響を受ける心 ・グリーフ（喪失と悲嘆）の心理学 <p>（成績評価方法） 出席を重視する。 毎回のミニテスト、定期試験、課題提出により成績評価を行う。</p>				
	<p>基本的にパワーポイントを使用。</p> <p>テキスト：別冊ニュートン「ゼロからの心理学」（増補第 2 版）ニュートンプレス 2021.2 「喪失と悲嘆のためのガイドブック～暮らしの中のグリーフワーク」グリーフワークかがわ編集 2020.2</p>				

科目名	実用英語			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当者	越知 敬子				
目 標	本講座は、医療秘書の実務の場で必要とされる、実地的な英語力の育成を目指し、医療秘書技能検定試験、各種英語資格試験にチャレンジすることを目標とする。				
内 容	教科書の「使える 医療実務英語」と資料「BasicMedicalWords」の2つを使い医療実務英語に必要な会話力、語彙力、読解力を高める。 「使える 医療事務英会話」は1)医療実務英会話 2) 医療実務英文書に分かれており、2年では 1)医療実務英会話をすこした後に2)医療実務英文書をするによって、医療英語に必要な会話と、医療事務に必要な英文ライティングをする。教科書と併用して、クロスワード中心の「BasicMedicalWords」を解きながら医療英語の語彙を増やす。				
備 考	毎回の授業に英和辞典、和英辞典を持参すること。 2回に1回位、単語のテストをする。				

科目名	社会保障論			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	釜野 鉄平				
目 標	社会保障制度の担う役割について理解する。特に障害者や高齢者、医療など社会保障関連制度を中心に1年次よりも制度概要や法制度の改正点など具体的に学び、その内容について説明できるようにする。				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の担う役割 ・ 社会保障制度の動き（アメリカ） ・ 社会保障制度の動き（イギリス・ドイツ） ・ 障害者総合支援法の概要 ・ 障害者総合支援法の制度体系 ・ 介護保険制度の概要（創設背景・被保険者等） ・ 介護保険制度の制度体系（制度利用の流れと特徴） ・ 介護保険制度の制度体系（サービスとその内容） ・ 後期高齢者医療制度の体系 ・ 年金制度の概要 ・ 年金制度の制度概要 ・ 医療保険制度の概要 ・ 医療保険制度の制度概要 ・ 社会保障関係制度 ・ まとめ・確認試験 				
備 考					

科目名	秘書実務			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	60時間 30回	単位数	2単位
担当者	伊藤 歌子				
目 標	<p>① 1年時に秘書概論で学んだ「言葉遣い」や「来客対応」、「電話対応」等のマナーについて振り返りをしながら、実践トレーニングを取り入れ体得をする。</p> <p>② 今後の職場実習、就職活動等のあらゆる場面に学んだことを活かし、希望する職場への就職に繋がるとともに、就職後は戦力として接遇マナーが実践できるよう意識と対応スキルを身に付ける。</p>				
内 容	<p>ビジネスマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接遇マナーの必要性 ・基本マナー（身だしなみ、挨拶、基本動作、言葉遣い等） ・来客対応（お迎えからご案内まで） ・お茶の接待 ・訪問のマナー（応接室でのマナー、席順、名刺の授受） ・電話対応（心構え、印象の良い言葉の言い回し、基本フロー） ・ビジネス文書（社内文書、社外文書） ・職場実習、就職活動時の心構えとマナー 				
備 考					

科目名	診療報酬請求事務Ⅱ			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	3単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務				
目 標	診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級において繁雑に算定される項目に関して十分な理解を得るような指導を行い検定資格の取得をめざす。医療事務の基礎的なことを理解したうえで難易度の高い検定の合格をめざす。				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・入院料の算定の原則を理解する。 入院基本料、入院基本料等加算、特定入院料、短期滞在手術基本料などを理解させる。 ・一般病棟に関する加算について届出の可否も含めて理解させる。 実務、検定においても一般病棟に関することが多い為、中心に指導する。 <p>(成績評価方法)</p> <p>レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	診療報酬請求事務演習Ⅱ			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	6単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務				
目 標	医療秘書技能検定試験2級、診療報酬請求事務能力認定試験合格をめざす。 過去問題集を使用し過去問題を行うことにより出題傾向の理解間違いやすい 項目を理解させる。				
内 容	<p>学科と実技（レセプト）の過去問題集を使用し解説を行う。 ポイントを絞り進めていく。質問等による個々への対応も考え勧める。</p> <p>(成績評価方法) 定期試験 80%、小テスト 10%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う</p> <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	診療報酬請求事務Ⅲ			履修法	講義 選択
学 期	2年 後期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	6単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務				
目 標	各種検定資格取得に向けて指導を行う。(希望者)				
内 容	<p>今までの問題集をもとに復習を行う。</p> <p>解説 設問ごとにポイントを絞る。 出題傾向の高い問題等や混乱しやすい項目を十分解説する。</p> <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	診療報酬請求事務演習Ⅲ			履修法	演習 選択
学 期	2年 後期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	3単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務				
目 標	各種検定資格取得に向けて指導を行う。(希望者)				
内 容	<p>過去問題集を使用し演習をおこなう。 解答することにスピードの力をつける。</p> <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	メディカル・クラーク論			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当者	岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務				
目 標	医療秘書技能認定試験2級合格させる				
内 容	<p>学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書実務 ・医療機関の組織・運営 ・医療関連法規 ・医療関連知識 <p>実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院レセプトの作成 ・診療点数早見表の理解（スピード検索） <p>(成績評価方法)</p> <p>定期試験 80%、レポート提出 20%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	医療情報学			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期・後期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当者	鎌田 やよい				
目 標	<p>病院情報システムについて理解させる。 レセプト電算処理システムについて理解させる。 地域医療システムと遠隔医療システムについて理解させる。 医師事務作業補助者の役割を理解させる。 医療に関する文書の作成が行えるようにする。</p>				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・病院情報システム電子化の流れを理解する。 ・電子保存の3原則を理解する。 ・さまざまな病院情報システム（医事会計、オーダーリング、電子カルテ、検査部門、医用画像、その他）について理解する。 ・レセプト電算処理システムとオンライン請求について理解する。 ・地域医療システムと遠隔医療システムについて理解する。 ・医師事務作業補助者に求められる能力を理解する。 ・文書作成演習により効率よく文書作成を行う。 <p>（成績評価方法） 定期試験 60%、レポート提出 40%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考					

科目名	医療と法			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当者	小田 敬美				
目 標	医療は、医学的知見によってのみ提供されているわけではなく、社会的な制度やルールの中での提供されています。実際、医療に関するルールはその質・量ともに膨大なものです。この授業では、医療をめぐるルール（法令や判例）を法的な観点から学修し、医療現場におけるルールだけでなく、医療関係者と患者社会との関係を法的な視点から理解できるようになることをめざします。				
内 容	<p>上記の目標を達成するため、第Ⅰ部では＜法学の基礎＞を、そして第Ⅱ部では＜医療関係法の基礎＞を学びます。受講生の理解度や関心に応じて、＜第Ⅲ部＞の中からもいくつかのテーマを扱うことにします。</p> <p>第Ⅰ部 法学の基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 法の諸分野と機能 2 法の種類 3 裁判制度と判例 4 法専門職のいろいろ 5 法学学習のための各種資料 <p>第Ⅱ部 医事法の基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医事法総論 2 医療関係者の資格と業務 3 医療提供体制 4 診療情報の保護 <p>第Ⅲ部 「医療と法」の諸問題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症対策および保健法規 2 人の出生にかかわる諸問題 3 医学研究と医薬品をめぐる問題 4 人体組織と遺伝子・性の決定をめぐる問題 5 医療事故をめぐる問題 6 脳死問題と臓器移植 				

	7 終末期医療 8 特別な配慮を必要とする患者 9 医療現場とワークルール[労働法]
備考	教科書と六法（法令集）を毎回持参してください。

科目名	専門医学			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	60時間 30回	単位数	2単位
担当者	河邊 徹郎 臨床工学技士として医療機関へ30年以上勤務				
目 標	医療秘書としての専門知識と技能を判定するための、医療秘書技能検定試験に合格し、資格取得する。				
内 容	1. 医学的基礎知識の学習 2. 医療関連知識の学習 3. 医学的専門知識の学習 4. 医療秘書技能検定試験問題（過去問題）による学習 (成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	くすりの知識			履修法	講義 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	2単位
担当	武智 研志 薬剤師として医療機関において 10 年以上勤務				
目 標	今日の医療において薬物療法が大きく貢献していることは言うまでもない。本講義では、実際に臨床現場で使用されている医薬品についての基本的事項を概説し、医療機関において仕事をする場合に必要となるくすりに関する基礎知識を習得することを目的とする。				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ くすりが生まれるまで（くすりの開発について） ・ くすりの種類（剤形とその特徴について） ・ くすりはこのようにして効く（薬理作用について） ・ くすりを正しく飲むために（飲み方の基本的事項） ・ くすりの功罪(薬物依存と薬害事例) ・ くすりに関わる人々 				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	調剤事務			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	1単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務				
目 標	<p>I 医療保険制度、調剤報酬の計算、レセプト作成の仕方を学習し、調剤報酬請求事務の理解を深める。</p> <p>II 調剤事務管理士技能認定試験の合格を目指す。</p>				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険調剤のしくみ ・ 医療保険制度及び、関連制度のしくみ ・ 処方せんの知識と調剤報酬の計算方法 ・ 調剤録とレセプトの記載方法 ・ レセプトの作成練習 ・ 薬の基礎知識 ・ 技能認定試験対策 <p>(成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	介護保険事務			履修法	講義 必修
学 期	2 年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	岡村 昌子 医療事務として医療機関へ 10 年以上勤務				
目 標	I 介護保険制度、介護報酬の計算、レセプト作成方法を学習し、介護報酬請求事務の理解を深める。 II 介護事務管理士技能認定試験の合格を目指す。				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のしくみ ・サービスの種類と内容 ・支給限度額のしくみ ・利用者負担の徴収等 ・介護報酬の算定方法 ・レセプトの記載方法 ・介護レセプトの作成練習 ・多制度との関係 ・技能認定試験対策 <p>(成績評価方法)</p> <p>定期試験 90%、課題提出 10%の配分により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	歯科事務			履修法	講義 必修
学 期	2 年 前期	授業時間/ 授業回数	30 時間 15 回	単位数	2 単位
担当者	土居 訓枝 歯科医師として医療機関へ 15 年以上勤務 兵頭 弥里 歯科衛生士として医療機関へ 5 年以上勤務				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科における仕事内容を理解する。 ・ 一般社会人としてのビジネスマナー身につける。 				
内 容	<ol style="list-style-type: none"> ① 理想的な病院受付について ② 電話応対について ③ 来院時の受付対応について ④ 歯科知識について ⑤ 歯科医院の仕事内容について ⑥ 会計時の受付対応について ⑦ 総括 ⑧ 前期試験 				
備 考	<p>実務経験のある教員等による授業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一回の授業は2コマ連続で行います。 ・ グループディスカッションや発表を行う事が中心の参加型授業です。 				

科目名	医事コンピュータ演習Ⅱ			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	60時間 30回	単位数	2単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務				
目 標	実際の現場同様の運用フローに沿って入力演習を行うことで実践力を高めることをめざす。				
内 容	<p>レセプト入力演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の現場同様での入力方法で実践する。 ・業務での入力が診療行為により出来高により出力されていることの理解を更に深める。 ・病院での入院算定例を理解する。 <p>(成績評価方法) 定期試験により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	医事コンピュータ演習Ⅲ			履修法	演習 選択
学 期	2年 後期	授業時間/ 授業回数	60時間 30回	単位数	2単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務				
目 標	医事コンピュータ技能検定試験の内容でレセプトの入力を行う。				
内 容	<p>レセプト入力演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院レセプトは高額な為 現場業務が経営においていかに重要であるか説明。 ・多くの算定例を入力。 <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	実務実習Ⅱ			履修法	実習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	90時間 45回	単位数	2単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	現場での貴重な体験をもとに今後の教科学習や就職活動、および就職後の業務遂行に役立たせることを目標にする。				
内 容	<p>実習内容</p> <p>1 職場での心得・マナーの習得</p> <p>① 患者様に対する応対の仕方</p> <p>② 職員に対する正しい言葉遣い</p> <p>2 窓口業務の習得</p> <p>① 患者様の受付、呼び出し</p> <p>② 保険証の取り扱い</p> <p>③ カルテ検索、搬送</p> <p>④ 新患カルテ作成</p> <p>⑤ 電話対応等</p> <p>3 会計業務の体験</p> <p>① 診療報酬明細書の算定</p> <p>② 一部負担金の徴収等</p> <p>上記に実習内容を中心に体験・習得 (成績評価方法)</p> <p>学外実習指導者からの評価(点数)を加味し評価をする。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				

科目名	実習指導			履修法	演習 必修
学 期	2年 前期	授業時間/ 授業回数	30時間 15回	単位数	1単位
担当者	掛川 さゆり 医療事務として医療機関・教育機関へ10年以上勤務 岡村 昌子 医療事務として医療機関へ10年以上勤務 鎌田やよい				
目 標	医療事務の実習での必要な心構え、基本的なマナー、実習に必要な知識等を指導する。				
内 容	<p>病院実習のオリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応の留意点。 ・ 勤務時の心得。 <p>実習中の毎日の心得 実習日誌の記入 挨拶・礼儀 電話の対応 敬語の使い方 実習中の服装・みだしなみ</p> <p>(成績評価方法) レポート提出により成績評価を行う。</p>				
備 考	実務経験のある教員等による授業である。				